

平成27年度施策評価調査

整理番号	6
評価担当課	保健センター 保健係
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	健康づくりの推進(2-1-1)		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	主要施策	1	健康の保持増進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	生活習慣病を予防するために、健診の年齢の拡大や健診受診率向上を図り、健診結果をもとに、生活習慣の改善や個々にあった健康づくりができるよう支援する。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	健康診査事業、生活習慣病予防等活動、がん検診事業 名寄市民健康づくりチャレンジデー・なよろ健康まつり 保健推進委員・食生活改善推進員 機能訓練事業
施策の課題	人口の急速な高齢化とともに、平成24年次死亡統計をみると、疾病全体に占めるがん、心疾患、脳血管疾患の割合が54.2%となっており、また、名寄市国保被保険者(40～74歳)について、平成25年度の特定健診の結果を見ると所見がある者は9割以上を占めている。これらのことから、「健康寿命の延伸」に向け重点課題である生活習慣病の発症予防や重症化予防を図っていく必要がある。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
チャレンジデー 参加人数	ラジオ体操(13会場、各町内会)、市民綱引き大会、各種スポーツ行事への参加(5月最終水曜日)	目標値	20,000	20,000	20,000	80,000
		実績値	17,745	18,086	18,366	
		進捗率	89%	90%	92%	
健康まつり参加人数	9月第4土曜日に「名寄市民健康の日」と位置付け、体内健康測定等への参加	目標値	500	500	500	2,000
		実績値	398	372	363	
		進捗率	80%	74%	73%	
がん検診受診率	胃、肺、大腸、子宮、乳がん検診(※数値は胃がん検診を記載)	目標値	31.5	32.0	32.5	
		実績値	15.6	15.3	20.5	
		進捗率	50%	48%	63%	
健康相談参加人数	定期健康相談地区:28か所(H25から24か所) その他保健センター、ふうれん健康センターで随時実施	目標値	3,400	3,400	3,400	13,600
		実績値	3,390	3,836	3,669	
		進捗率	100%	113%	108%	
健康教室参加人数	地区での定期健康相談後28か所、その他地区・各団体からの依頼	目標値	2,500	2,500	2,500	10,000
		実績値	2,811	2,834	2,266	
		進捗率	112%	113%	91%	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	特定健診やがん検診については、対象年齢を引き下げ、より若年からの健(検)診を受診により早期から生活習慣の見直しや改善を図ることができた。また、各種行事や地区に出向くことにより参加人数が増加し、概ね目標を達成していることから順調と判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も各地区の保健推進委員や食生活推進員等と連携しながら、地区の要望に応じ多くの市民が健康づくりに参加できる取り組みとしていく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	健康づくり運動推進事業	チャレンジデーによる健康まつりの実施	1,490	a	a	a	a	a	a		
2	機能訓練事業	脳血管疾患等の後遺症を持つ人への機能訓練を実施	10,951	a	a	a	a	a	a		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成27年度施策評価調書

整理番号	6-①
評価担当課	保健センター
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	感染症予防の推進(2-1-3)		
総合計画の位置づけ	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
	主要施策	1	健康の保持増進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	感染症発生动向の把握及び予防に関する正しい知識の普及啓発を図り、感染症の予防と重症化を防ぐ
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	高齢者予防接種(インフルエンザワクチン、高齢者の肺炎球菌ワクチン) 乳幼児予防接種(BCG、四種混合、ヒブ、小児肺炎球菌ワクチン等) 成人の風しん予防接種緊急対策事業
施策の課題	乳幼児については予防接種法に基づき実施しており、定期接種(A類:集団予防に重点、本人に努力義務、接種勧奨あり)化が進んでいる。高齢者は肺炎球菌ワクチンが定期接種(B類:個人予防に重点、努力義務・接種勧奨なし)化され、それぞれ病気に対する抵抗力が弱いことから予防対策が重要となっている。 成人の風しん予防接種については、事業開始のH25をピークに年々流行が低水準で推移している。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
乳幼児予防接種	接種率(BCG)	目標値	100	100	100	400
		実績値	99.6	99.3	100.0	
		進捗率	100%	99%	100%	
高齢者予防接種	接種者数(インフルエンザ)	目標値	4,500	4,500	4,500	18,000
		実績値	3,913	3,921	3,988	
		進捗率	87%	87%	89%	
成人の風しん予防接種緊急対策事業	接種者数	目標値		450.0	210	660
		実績値		136.0	37	
		進捗率	#DIV/0!	30%	18%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	乳幼児については、定期接種化や個別接種への移行が進み、接種率も上がっている。高齢者についても、肺炎球菌ワクチンが定期接種化されるなど感染症予防と重症化が図られてきていることから順調と判断した。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

適切な時期により安心して受けられる体制を推進していく。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価					外部評価	2次評価	
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度			評価
1	成人の風しん予防接種緊急対策事業	19歳以上の妊娠を希望する女性又は妊婦の夫で接種を希望する者への一部助成	270	a	a	a	a	a	a		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	6	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	保健センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	健康づくり運動推進事業(名寄市民健康づくりチャレンジデー・なよろ健康まつり)			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	1	健康の保持増進
		基本事業	1	健康づくりの推進
		実施計画事業	2	健康づくりの普及啓発

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	健康に関するイベントを通じて、市民の健康意識を高める			
対象(何を又は誰を)	全市民			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	市負担金、笹川財団、名寄市国保、名寄市開業医師会、名寄市三師会より補助金を受け、健康まつり実行委員会を組織し、5月最終水曜日に「チャレンジデー」、9月第4土曜日に「健康まつり」を開催			
意図(どのような成果を期待しているか)	健康に関するイベントを通じて、市民の健康意識を高める			
事業実施主体	なよろ健康まつり実行委員会			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	H2 年度	終期設定	有(終期 年度) 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1	人	目標					
	実績							
	2	目標						
			実績					
成果指標	1	人	目標	20,000	20,000	20,000	20,000	80,000
			実績	17,745	18,086	18,366	19,000	
	2	人	目標	500	500	500	500	2,000
			実績	398	372	363	370	

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	1,720	1,590	1,490	1,460	支出 チャレンジデー 1,049千円 なよろ健康まつり 441千円
国道支出金					
地方債					
その他	1,220	1,090	990	960	
一般財源	500	500	500	500	
人件費	1,337	1,326	1,326	1,326	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.20	0.20	0.20	0.20	
総事業費	3,057	2,916	2,816	2,786	
対前年比(%)	—	95	97	99	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1	0.2	0.2	0.2	総事業費/参加人数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	平成27年度でチャレンジデーは22回、健康まつりは28回を迎えることから、参加者拡大に向けた内容の検討が必要 また、人口減少により笹川スポーツ財団からの助成金が減額となっており、市負担金の増が見込まれる。
改善点	指摘事項 有 () 無 ()

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総合計画掲載事業であり、名寄市において歴史ある事業で市民に広く浸透していることから、健康づくりに向けての意識啓発を図るうえで重要な取り組みである。現状を基本とした事業展開が望ましい。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	5月のチャレンジデーをきっかけとして、継続した運動に取り組み、9月の健康まつりには健康づくりの重要性を認識してもらうといった通年的な事業となっており、有効と考える。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	他団体からの参画と助成金・負担金により事業を運営していることから低いコストで大きな成果があがっている。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	受益者負担は無いが、全市民を対象とした事業であり適正と考える。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	事業の歴史は古く、広く市民に定着しており、目標に対してほぼ達成されている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	全市民を対象とした取り組みとして広く定着しており、健康の大切さや健康づくりに向けた意識啓発を図る上で重要な事業であることから、現状を継続させることが望ましいと考える。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	6	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	保健センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	機能訓練事業			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	1	健康の保持増進
		基本事業	1	健康づくりの推進
		実施計画事業	4	地域機能訓練事業の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	脳血管疾患等の後遺症を持つ人の心身の機能の維持・回復を図るとともに、寝たきり閉じこもりを予防し、通所者相互の精神的安定及び社会への関心意欲が高まることを目的とする。			
対象(何を又は誰を)	脳卒中後遺症等で機能訓練が必要な者			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	理学療法士共同配置事業により、他市町村と共同で委託し実施			
意図(どのような成果を期待しているか)	介護が必要になることを予防する			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	<input checked="" type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助等 <input type="radio"/> 請負 <input type="radio"/> その他()			
事業実施期間	始期	63年度	終期設定	有(終期年度) <input checked="" type="radio"/> 無
根拠法令・条例等	健康増進事業(40歳から65歳未満)			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1	人	目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
成果指標	1	人	目標	4,400	4,400	4,400	4,400	17,600
			実績	3,753	3,278	2,691		
	2		目標					
			実績					


(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	11,478	11,177	10,951	10,351	支出 ・嘱託、臨時職員人件費 5,087(共済費含む) ・消耗品等 11 ・リハビリ通級者送迎事業委託料 1,330 ・理学療法士共同配置委託料4,523
国道支出金	1,923	1,308	1,643	1,000	
地方債					
その他					
一般財源	9,555	9,869	9,308	9,351	
人件費	668	663	663	663	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数	0.10	0.10	0.10	0.10	
総事業費	12,146	11,840	11,614	11,014	
対前年比(%)	—	97	98	95	
事業コスト	活動指標1	3	4	4	総事業費/通所延人数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

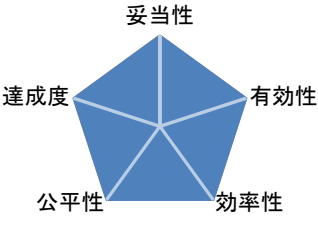
情勢の変化	平成12年の介護保険法施行により介護保険サービスと併せて利用される方が全体の4割となっており、道補助金の対象となる65歳未満の通所者が減ってきている。
改善点	指摘事項 有 () 

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総合計画登載事業である。「名寄地区機能訓練事業推進協議会」設立による理学療法士等の派遣で通所者が安心してより効果的で専門的な訓練ができる体制となっている。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	通所を継続することにより介護予防につながる効果が大きい。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	平成13年度より送迎事業が開始され、通所のための交通手段が確保されたことにより、通所体制の充実が図られた。通所者の安全面を考えた場合にコスト削減は難しい。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りはないか？	a	送迎サービスで利用者一部負担があり、適正と考える。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	脳血管疾患等の後遺症者を対象としているため、単純に通所者数が増加するものではない。目標値は下回っているが、医療機関、ケアマネージャー等との連携による情報交換など受入にあたっては十分な対応を図られてきている。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	通所者の高齢化に伴い身体状況が重度化してきているため、通所が困難となり介護保険サービスに移行される方や長期療養者の増加により通所者数が減少してきているが、理学療法士や作業療法士等の派遣を受け通所者が安心してより効果的で専門的な訓練ができる体制が確立され、介護予防につながる効果が非常に大きいことから。	
A: 現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B: 進め方を改善		
C: 規模・内容を見直し D: 抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	6	枝番	3
評価担当課・係・職名・氏名	保健センター		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	成人の風しん予防接種緊急対策事業			
総合計画の位置づけ	有	基本目標	2	安心して健やかに暮らせるまちづくり
		主要施策	1	健康の保持増進
		基本事業	3	感染症予防の推進
	無	実施計画事業	2	予防接種事業の充実

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	風しんの流行の抑制及び先天性風しん症候群の発生を防止するため希望者に対して予防接種費用を			
対象(何を又は誰を)	19歳以上の妊娠を希望する女性又は妊婦の夫で接種を希望する者			
手段=活動(仕事)	予防接種を希望する者に接種券を交付し、市と委託契約をした医療機関において個別接種を行う。			
意図(どのような成果を期待しているか)	妊婦と生まれてくるこどもの健康を守る。			
事業実施主体	名寄市			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	25年度	終期設定	有(終期) 30年度 無
根拠法令・条例等	名寄市成人の風しん予防接種緊急対策事業実施要綱			

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
活動指標	1	人	目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					
成果指標	1	人	目標		450	210	80	450
			実績		136	37		
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	870	270	667	支出 消耗品費 253 委託料 17
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源		870	270	667	
人件費	0	331	331	331	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数		0.05	0.05	0.05	
総事業費	0	1,201	601	998	
対前年比(%)	-	#DIV/0!	50	166	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1		9	16	総事業費/接種者数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3) 事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	助成を開始した平成25年は全国で累計14,357例の報告例があり、平成20年以降、ピークとなったが、それを境に罹患者が減っており、低い水準となっている。
改善点	指摘事項 有 () 無

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総合計画掲載事業である。流行の状況としては、低い水準にあるが、引き続き注意が必要であり、万が一罹患すると赤ちゃんに難聴や心疾患、白内障や緑内障などの障害が起こる可能性があることから、予防対策として実施することが必要である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	予防接種率を高めることで、妊婦と生まれてくる子どもの健康を守ることができる。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	風しんの免疫が不十分な方が多い世代を対象にした事業であり、制度終了年度の平成30年度には概ね目的が達成される見込みである。また、感染を防ぎ、安心して出産できることを目的とした事業であることからコスト削減の余地はない。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	接種者から自己負担を徴収し、残りについて助成しており適正である。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	本制度による接種や定期接種等により免疫が付いてきていることもあり、年々接種者は減少していることから目的はほぼ達成されるものである。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	接種者数は減少しているが、風しんの免疫が不十分な方が多い世代も安心して出産できる環境が作られている。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり